

ICANN の組織紹介

ICANN(The Internet Corporation for Assigned Names and Numbers)は、インターネットの各種資源を全世界的に調整することを目的として、1998 年 10 月に設立された民間の非営利法人です。本拠地は米国カリフォルニア州ロサンゼルス、他にトルコ・イスタンブールおよびシンガポールにハブオフィス、世界 6 ヶ所にエンゲージメントオフィスがあります。

■ICANN の役割

ICANN の主な役割は次のとおりです。

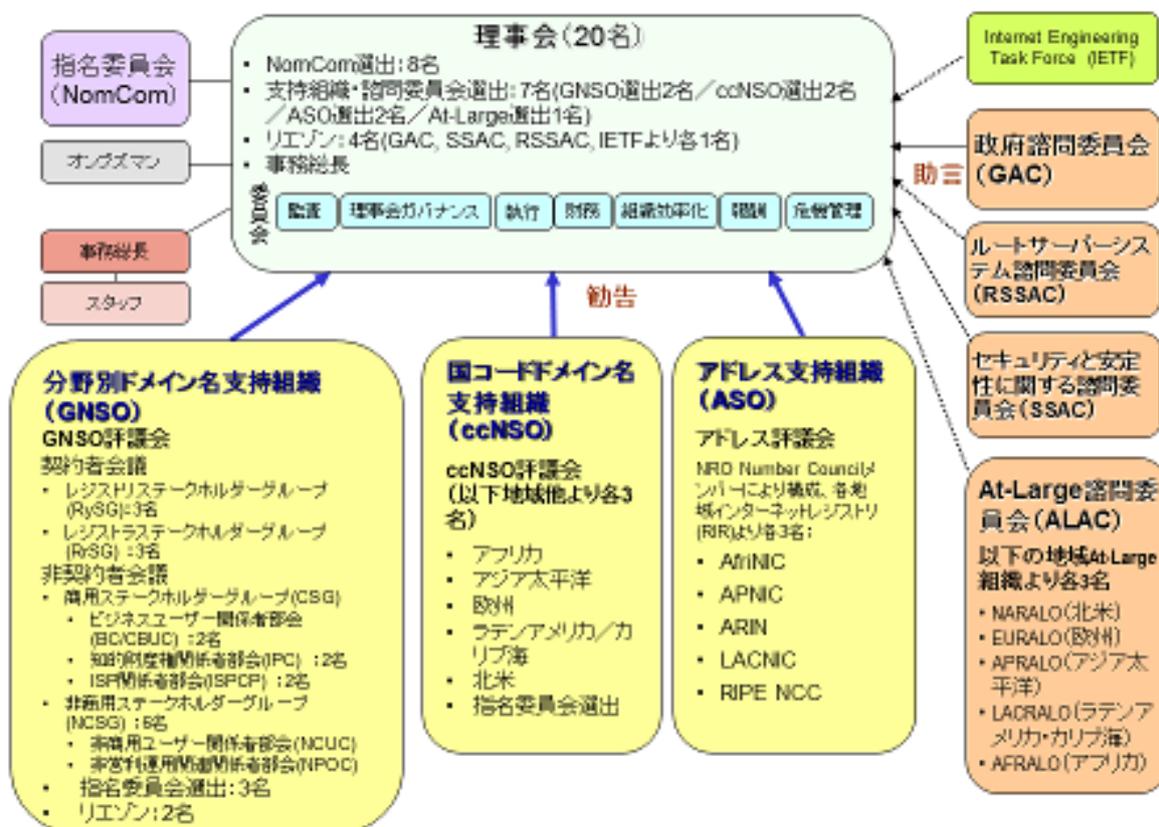
1. インターネットの 3 つの識別子の割り振り・割り当てを世界的かつ一意に行うシステムの調整
 - a. ドメイン名
 - b. IP アドレスおよび自律システム(AS)番号
 - c. プロトコルポート番号およびパラメーター番号
2. DNS ルートネームサーバー・システムの運用および展開の調整
3. これらの技術的業務に関連するポリシー策定の調整

ICANN は、これらの調整活動を民間主導で世界的に行うことを目的としていることから、その活動は全世界に開かれたものとなっており、関心のある人は誰でも自由に参加することができます。

■ICANN の組織構成

2016年1月4日現在

ICANN組織構成図



ICANN の基本構造は、理事会と三つの支持組織(Supporting Organization)、 および四つの諮問委員会によって成り立っています。 ICANN として何らかの方針決定を行う際には、まず、 ICANN の各構成組織による議論に加えて全世界からの自由な参加による議論が行われ、 その結果を理事会に勧告するというボトムアップ型のプロセスによって進められていきます。 その後、最終的な意思決定機関である理事会が、 それらの勧告を参考にした上で決定を行います。

理事会は、広範な地域・分野からの代表によって構成され、開かれた透明性のあるプロセスに基づいて意思決定を行います。理事 15 名の内訳は、指名委員会(Nominating Committee: NomCom)によって指名される 8 名、各支持組織が 2 名ずつ選出する代表計 6 名、At-Large 諮問委員会が選出する代表 1 名、そして ICANN 事務総長兼 CEO となっています。また、議決権を持つ理事の他に、At-Large 諮問委員会以外の諮問委員会および、Internet Engineering Task Force (IETF)から議決権を持たないリエゾンメンバーが各 1 名ずつ参加します。理事会内には次の七つの委員会が設置されており、必要に応じて各種の臨時委員会が設置されます。

- ・ 監査
- ・ 理事会ガバナンス
- ・ 執行
- ・ 財務
- ・ 危機管理
- ・ 構造改革
- ・ 報酬

支持組織には、次の三つがあり、各分野に関連する方針策定について、理事会を支援し勧告を行う役割を負っています。

- ・ 分野別ドメイン名支持組織(Generic Names Supporting Organization: GNSO) : 分野別ドメイン名(gTLD)を担当
- ・ 国コードドメイン名支持組織(Country Code Names Supporting Organization: ccNSO) : 国コードドメイン名(ccTLD)を担当
- ・ アドレス支持組織(Address Supporting Organization: ASO) : インターネットプロトコル(IP)アドレスおよび自律システム(AS)番号を担当

各支持組織には、必要に応じて作業部会(WG)、作業チーム(WT)などが設けられることがあります。これらは複数の支持組織および諮問委員会にまたがって設立されることもあります。

さらに、理事会に対し専門的立場から助言を行う機関として、各種の諮問委員会(Advisory Committee)が存在します。現在は、次の四つが常設の諮問委員会となっています。

- ・ 政府諮問委員会(Governmental Advisory Committee: GAC)
 - 各国政府の代表等からなる
 - 公共政策の観点からの助言を行う
- ・ DNS ルートサーバーシステム諮問委員会(DNS Root Server System Advisory Committee: RSSAC)
 - ルートサーバー運用管理者等からなる
 - ドメインネームシステム(DNS)におけるルートサーバーの運用に関する助言を行う
- ・ セキュリティと安定性に関する諮問委員会(Security and Stability Advisory Committee: SSAC)
 - 技術者、研究者のみならず幅広い分野からのメンバーからなる
 - ドメイン名と IP アドレスおよび AS 番号分配に関するセキュリティと安定性に関する助言を行う
- ・ At-Large 諮問委員会(At-Large Advisory Committee: ALAC)
 - ICANN のポリシー策定に参加する個人インターネットユーザーの代表からなる
 - 個人インターネットユーザーの関心に関連した助言を行う

これらに加えて、インターネットの技術標準を作成する「技術リエゾングループ(Technical Liaison Group: TLG)」が、理事会に技術面の助言や情報提供を行います。TLG は次の組織の代表からなっています。

- l European Telecommunications Standards Institute (ETSI)
- l International Telecommunications Union's Telecommunication Standardization Sector (ITU-T)
- l World Wide Web Consortium (W3C)
- l Internet Architecture Board (IAB)

TLG とは別に、IETF (Internet Engineering Task Force)より ICANN 理事会に投票権のないリエゾンを 1 名選出することが定款で定められています。

また、ICANN の運営において透明性やアカウントビリティ(説明責任)を重視するための仕組みとして、オンブズマン、再検討プロセスおよび独立審査プロセス(IRP)が存在します。

これらの組織構成は、いわゆる ICANN 改革¹として検討された結果、2002 年 12 月に改訂され現在とほぼ同じ形になっています。

¹ ICANN 改革の流れ

<http://www.nic.ad.jp/ja/icann/reform/overview.html>

■ICANN 理事会メンバー

2016 年 5 月の Göran Marby 氏の事務局長就任により、2016 年 6 月 14 日現在は以下のメンバーとなっています。

種別	氏名	出身地域	所属・経歴など
ASO 選出理事	Ron da Silva	北米(米国)	Time Warner Cable にてネットワークエンジニアリング / アーキテクチャー / 技術担当グループ副社長。ARIN の諮問委員会議長、NRO NC メンバーでもある。その前には America Online で主任アーキテクトを務める。
	前村 昌紀	アジア太平洋(日本)	JPNIC インターネット推進部 部長。NEC にてインターネットサービスの立ち上げに従事した後、JPNIC や APNIC の運営に加わる。APNIC では 2000 年より 2016 年まで理事を、その間 2003 年から 2016 年までは APNIC 理事会の議長を務めた。途中 NEC よりフランステレコムに移り、2002 年より 2007 年までは JPNIC 理事(IP 分野担当)。2007 年に JPNIC 理事を退任すると同時にフランステレコムを退社し、JPNIC の IP 事業部部長となる。2009 年より現職。
GNSO 選出理事	Becky Burr	北米(米国)	弁護士。現職は Neustar の法律顧問代理兼 Chief Privacy Officer。1990 年代後半、米国連邦取引委員会や米国商務省電気通信情報局にてプライバシーやインターネットガバナンス、消費者およびデータ保護等の問題に従事した。米国商務省電気通信情報局では 1998 年当時、ICANN の設立やレジストリ/レジストラ契約の導入にあたって中心的な役割を果たし、米国を代表する立場を務めた。初期の ICANN では GAC における米国代表を務めている。2006 年からは ccNSO 評議会メンバー(当初は指名委員会の任命により、現在は米国代表として)。
	Markus Kummer	欧州(スイス)	独立コンサルタント。2011 年 2 月より Internet Society に参加し、2014 年 9 月に(ISOC)の Senior Vice President を辞任。それ以前は、スイス大使、スイス使節団、国連世界情報社会サミット(WSIS)におけるスイス政府代表メンバー、スイス外務省の eEnvoy を経て、IGF 事務局長、WGIG 事務局長を歴任。
ccNSO 選出理事	Mike Silber	アフリカ(南アフリカ)	弁護士であり法律と規制に関する独立コンサルタント。2005 年、2006 年には ICANN 指名委員会の ccNSO 代表を務めた。
	Chris Disspain	アジア太平洋(豪州)	2000 年より .au Domain Administration Ltd (auDA) の CEO を務める。以前には 14 年間にわたって英国およびオーストラリアで企業弁護士を務める。2004 年から 2011 年まで、国コードドメイン名支持組織(ccNSO)評議会議長を務めた。
At-Large 選出理事	Rinalia Abdul Rahim	アジア太平洋(マ)	ネットワークに関するコンサルティングを行う Compass Rose Sdn Bhd の創業者であり、役員を務める。情報処理お

種別	氏名	出身地域	所属・経歴など
		レーシア)	よび情報通信におけるマルチステークホルダ型のポリシー策定や学習イベントの開催を専門とする。2001 年～2008 年は Global Knowledge Partnership(GKP)の役員を務め、同団体を information and communication technologies for development(ICT4D)分野における初のマルチステークホルダ型の団体化することに成功した。それ以前は、マレーシアの国立情報技術委員会の委員や ISOC マレーシア支部の役員、国連開発計画(UNDP)のプログラムにおける諮問委員などを歴任。
指名委員会 選出理事	George Sadowsky	北米(米国)	米国財務省や世界銀行を含むいくつかの組織向けのコンサルタントを務める。Internet Society (ISOC) にて開発途上国ネットワークトレーニングワークショップに従事し、Global Internet Policy Initiative (GIPI)では常勤役員を務めた。
	Rafael Lito Ibarra	ラテンアメリカ・カリブ海(エルサルバドル)	エルサルバドルの ccTLD レジストリである SVNet の創立社長および多数の企業、教育機関、非営利団体に関わる。LACTLD および RedCLARA の創設メンバーで、現在 LACNIC 理事を務める。
	Asha Hemrajani	アジア太平洋(香港)	2014 年よりコンサルタント会社 Knight Griffin の Business Evaluation Centre を率いる。Hutchison Telecom にて移動無線回線網のサービスを手がけた後に Nokia および Nokia Siemens Networks(NSN)で責任ある立場を務め、3G、WCDMA 方式の無線通信インフラの販売を指揮した。その後、Nokia および NSN では 4G、LTE 方式のビジネス化の責任者を務めた。
	Cherine Chalaby (副議長)	アフリカ(エジプト)	Accenture にて 28 年間勤務した後、2006 年 3 月に中東を拠点とする投資銀行 Rasmala に入社。役員として豊富な経験を有する。
	Maarten Botterman	欧州(オランダ)	インターネットにおけるイノベーションや技術が社会に与える影響等に関する助言が専門の独立の戦略アドバイザー。オランダ政府および EC にアドバイザーとして勤務の後、ISOC の下部組織である Public Interest Registry (PIR) にて 2008 年より 2016 年にわたって理事および議長を務めた。
	Khaled Koubaa	アフリカ(チュニジア)	独立の IT コンサルタント。インターネットにおける技術・管理および政策について 10 年以上の国際的な経験を有する。Arab World Internet Institute の設立者であり、代表者。過去 Google の政府関連および公共政策対応部門の MENA における責任者を務め、ISOC のチュニジア支部を設立し、同支部代表、ISOC 理事、AFRINIC の北アフリカ代表理事、ICANN 指名委員会における AFRALO 代表を務めた経験がある。

種別	氏名	出身地域	所属・経歴など
	Steve Crocker (議長)	北米(米国)	2003年から理事就任まで ICANN 理事会における SSAC リエゾンを務める。2003年～2006年は ISOC 理事。Shinkuro, Inc.の共同創設者兼 CEO。
	Lousewies Van der Laan	欧州(スロベニア)	欧州復興開発銀行、欧州委員会、欧州議会議員、国際刑事裁判所首席補佐官などを歴任。現在はリュブリャナで戦略、政治、民主主義、人権、ガバナンスなどのコンサルタントを務める。
リエゾン	Thomas Schneider(GAC)	欧州(スイス)	スイスを代表する GAC メンバー。GAC の議長を務める。インターネットガバナンスや情報社会におけるガバナンスが専門。スイスの連邦政府環境運輸エネルギー通信省(DETEC)下の連邦通信庁(OFCOM)において国際サービス部門および国際的な調整部門の責任者を務める。国連下の開発のための科学技術委員会(CSTD)においても 2006 年以来、スイスを代表する立場にある。他、欧州評議会(COE)の委員会や専門家グループ、ITU における WSIS 関連のワーキンググループにおいて議長や副議長を歴任。
	Ram Mohan (SSAC)	北米(米国)	Afilias 社の上級副社長兼最高技術責任者。2001年に同社に入社する前にはオンラインデータベースおよびコンテンツ配布を行う、Infonautics 社に勤務。
	Jonne Soininen (IETF)	欧州(フィンランド)	Renesas Mobile 社にて、標準化戦略担当部門長を務める。3GPP および Open Mobile Alliance (OMA)、IPv6 Operations (v6ops) WG、Network-based Localized Mobility Management (netlmm) WG などで活動中。
	Kaveh Ranjbar (RSSAC)	欧州(オランダ)	現職は RIPE NCC の最高情報責任者(CIO)。イランにてイラン最大の ISP の一つの立ち上げを率いた後、インターネットサービスや ISP 関連の業界に 12 年以上従事。その後、2008 年から RIPE NCC に参加。
ICANN 事務総長兼 CEO	Göran Marby	欧州(スウェーデン)	2016年5月就任。Cygate Group での CEO、Cisco(スウェーデン)での支部長経験の後、スウェーデンを本拠に Appgate を設立し、同社の CEO を務めた。また、スウェーデンの郵便通信庁(Swedish Post and Telecom Authority、PTS)下の独立規制機関の長官を務めた経験もある。現在、Swedish Broadband Forum、Swedish E-identification Board および、EC における電気通信市場に関する調整機関である Body of European Regulators for Electronic Communications (BEREC)のメンバーでもある。